

# ～明治時代の思想～

## 国家主義

明治初年	啓蒙思想・自由主義	民権論と国家論の対立
明治 20 年代 (日清戦争後)	国家主義	<p><b>平民的欧化主義</b>：<b>徳富蘇峰</b>『<b>国民之友</b>』（<b>民友社</b>） 平民の力による日本の近代化を説く →日清戦争を機に<b>国家主義</b>へ転向</p> <p><b>国粹保存主義</b>：<b>三宅雪嶺</b>・<b>志賀重昂</b>『<b>日本人</b>』（<b>政教社</b>） 欧化主義を批判し、伝統文化の保存を説く</p> <p><b>国民主義</b>：<b>陸羯南</b>『<b>日本</b>』 国家の独立・国民の統一を説く →<b>義和団事件</b>を機に<b>帝国主義</b>を認める</p> <p><b>日本主義</b>：<b>高山樗牛</b>『<b>太陽</b>』 日本の大陸進出の支持</p>
明治 30 年代 (日露戦争後)	国家主義に対する疑問 ↓ 社会主義・個人主義	政府の対応（ <b>第 2 次桂太郎</b> ） 1908 年 <b>戊申詔書</b> 1909 年 <b>地方改良運動</b> （内務省が推進） 1910 年 <b>大逆事件</b> （社会主義の弾圧）→「 <b>冬の時代</b> 」

### <ハイレベル>

- ① **徳富蘇峰** = 『大日本膨脹論』『将来之日本』『新日本の青年』 ※熊本洋学校で学ぶ
- ② **三宅雪嶺** = 『真善美日本人』『同時代史』 ※陸羯南との関係が深く、『日本』に入社
- ③ **陸羯南** = 『東京電報』 ※司法省法学校で学ぶ
- ④ **高山樗牛** = 『滝口入道』
- ⑤ **樽井藤吉** = 『大東合邦論』

## ～明治時代の思想頻出問題～

### 国家主義

- 1 雑誌『**国民之友**』などを創刊し、政府の欧化政策を批判して**平民的欧化主義**を唱えた人物の姓名を答えなさい。  
(明治学院・2012)
- 2 **国粹保存主義**を唱えた**三宅雪嶺・志賀重昂**らが**1888年**に設立した思想的結社は何か。その名を答えなさい。  
(立教／文・2014)
- 3 明治20年代に入ると、政府が主導する欧化主義に対する批判も唱えられるようになり、**徳富蘇峰**の**民友社**が発行した『**a**』や、**三宅雪嶺・志賀重昂**らの**政教社**が発行した『**b**』などの雑誌が創刊された。  
(明治／文・2005)
- 4 帝国憲法発布の日を期し、**国民主義**を唱えた**陸羯南**により創刊された日刊新聞の名称として、適切なものを下記の中から1つ選びなさい。  
A 『国民新聞』      B 『国民之友』      C 『日本』  
D 『日本人』      E 『太陽』  
(明治／経営・2013)
- 5 **高山樗牛**が主幹となり、国民精神として**日本主義**を訴えた雑誌はどれか。  
A 『明六雑誌』      B 『女学雑誌』      C 『国民之友』      D 『日本人』  
E 『文学界』      F 『太陽』      G 『二六新報』  
H 『ホトトギス』      I 『労働世界』      J 『中央公論』  
(明治／農・2003)

6 明治時代の思想に関する説明として誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 加藤弘之は当初、天賦人權説を主張したが、1880年代初めにあらわした『人權新説』で社会進化論の立場から天賦人權説を批判した。
- ② 陸羯南は新聞『日本』を創刊し、政府の欧化政策に反対して国民主義を唱え、国民的統一と国家の独立を強調した。
- ③ 高山樗牛は、日清戦争後、雑誌『太陽』を舞台に日本主義を唱え、日本の大陸進出を肯定した。
- ④ 日露戦争後に国家主義への疑問が生まれたのに対して、第1次西園寺公望内閣は戊申詔書を出して国民道徳の強化をはかった。

(明治学院・2012)

### < 演習問題 >

文中の(1)～(12)にもっとも適切な語句を以下のア～ネからそれぞれ1つ選び、その記号を答えなさい。

1880年代末には(1)問題を契機として民権論者のなかに国権論を唱える者があらわれ、その対立は「外交失策」をきっかけに明確となる。(2)を設立し、機関誌(3)を創刊した**徳富蘇峰**らは(4)を唱え、(5)をとる政府の上からの欧化政策を批判した。他方、**三宅雪嶺**らは(6)を設立し、機関誌(7)などで日本的な伝統や美意識を強調する(8)を説き、**陸羯南**は日刊新聞(9)で国家の独立と統一を訴える(10)を説いた。

**日清戦争**の勝利は決定的な変化をもたらした。**徳富蘇峰**は**対外膨脹論**に転じ、**高山樗牛**は雑誌(11)で**日本主義**を唱え、日本の大陸進出を肯定した。日本の中国分割への参加を批判していた**陸羯南**も、(12)後における**ロシア**の満州占領を機に、**対露強硬論**に転じた。

- |           |          |           |
|-----------|----------|-----------|
| ア 中国      | イ 台湾     | ウ 朝鮮      |
| エ 愛国公党    | オ 民友社    | カ 平民社     |
| キ 『日本人』   | ク 政教社    | ケ 『太陽』    |
| コ 『国民之友』  | サ 義和団の乱  | シ 甲申事変    |
| ス 北支事変    | セ 『国民新聞』 | ソ 明六社     |
| タ 愛国社     | チ 『日本』   | ツ 『国民』    |
| テ 壬午事変    | ト 『万朝報』  | ナ 平民的欧化主義 |
| ニ 貴族的欧化主義 | ヌ 国粹保存主義 | ネ 国民主義    |

(法政／社会・2013)

- |       |       |        |        |        |       |       |
|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|
| (1) ウ | (2) オ | (3) コ  | (4) ナ  | (5) ニ  | (6) ク | (7) キ |
| (8) ヌ | (9) チ | (10) ネ | (11) ケ | (12) サ |       |       |

増田塾 日本史講師 大廣学

**注意** この解答・解説・内容等を閲覧以外の用途に利用することを禁じます。